

平成18年度町長施政方針②

先月号に続いて3月定例議会での町長施政方針演説の中から、その要旨を抜粋、要約してお知らせします。

自治会、常会などでの町づくりや行政への参加の際の参考にして下さい。

今年度は、一体的な町づくりを進めるために、横田地域に最先端の技術を導入したケーブルテレビ、インターネット網の整備、鳥上公民館の整備など多くの大型プロジェクトが計画されています。

今後も町行政に対するご理解とご協力をよろしくお願い致します。

④ 活力に満ちた健康と福祉の町づくり

全ての町民が生涯にわたって健康で明るく生きがいを持って生活できる社会の実現を目指して十七年度に策定した奥出雲町健康づくり計画『奥出雲町げんきプラン21』に基づき関係機関と連携を図りながら積極的に町民の健康づくりを進めたいと考えております。

仁多地域は、平成十六年度から山陰で唯一、全国でも十両市町村の中に選ばれ、三カ年九千万円の厚生労働省全額補助の国保ヘルスアップモデル事業を島根大学医学部や奥出雲病院と連携を図りながら

進めて参りました。

この事業は、生活習慣病を予防するための効果的なプログラムを開発するモデル事業であり、多くの町民の皆さんの参加により成果を見ているところであり、最終年としてその成果をまとめるべく継続実施いたします。

昨年十月に創設いたしました、高齢者生活交通サポート事業については、利用者も多く本町独自の高齢者支援策として事業を引き続き実施することとしております。

また、高齢者の生きがいと就業の場の確保のため、任意団体でありました奥出雲町シルバー人材センターを社団法人化することにより一層の充実を図ることとしたところであります。

障害者自立支援法の施行により個人負担が増えましたので、身体障害者、精神障害者等で、重度で継続する障害をお持ちの方の医療費及び通院に係る経費を助成することで、個



▲ 横田地域での食育活動の様子

人負担の軽減を図ることとしております。

また、新たに、乳幼児等医療費についても、県単独事業に上乘せし奥出雲町が独自に助成を行うことといたしております。

介護保険制度がスタートして六年が経ち、国においては、急増する保険給付費の抑制及び介護予防強化に対処するため、平成十八年度から大幅に制度が改正され、実施されることとなり、特に介護予防、自立支援の強化と高齢者の生活を総合的に支えていくための拠点として、町が主体となった地域包括支援セン

ターを設置し、介護サービスの充実に向けて参りたいと考えております。

また、放課後児童健全育成事業の継続実施を行い、未開設校区における対策も含め更なる児童福祉の向上を図って参りたいと考えております。

⑤ 学校教育の充実と生涯学習の推進、文化スポーツの振興

学校教育

故郷を愛し自ら考え主体的に実践できる心身ともにたくましい人づくりを重点目標とし、それぞれの学校の特色を活かした教育の実践に引き続き努めてまいりたいと考えます。

本年は、横田中学校大規模改修事業や、県の委託による「ふるさと教育推進事業」、「社会人活用事業」など継続して実施いたします。

また、小学校専属の外国語指導助手の派遣につきましては、自治体国際化協会の格別な取り計らいを頂き、中学校派遣に加え、更に一名配置に向け候補者を選考頂いているところであります。



▶ 仁多地域で取り組まれている国保ヘルスアップモデル事業